



国際ロータリークラブ第2620地区 2022-2023年度

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ

会長 今村 一徳 幹事 石川 俊洋

朝霧アリーナより



今村一徳会長

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
 事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 フォレストヒルズ内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
 TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.37 通算 1527 号 2023 年 5 月 26 日(金)

ゲストビジターの紹介

ゲスト：なし

ビジター：なし

会長挨拶 会長 今村一徳君

先々週 14 日（日）の久々の親睦旅行は大変楽しく有意義な交流の時間が出来たと思います。

さて、今話題になっている人工知能のチャット GPT は皆さんもご存じと思いますが先日、試しに利用してみました。

ロータリークラブの事を調べてみました。

ロータリークラブとは？との問いに

ロータリークラブは、1905年にアメリカのシカゴで設立された国際的な社会奉仕団体です。ポール・ハリスを中心に、ビジネスや職業のリーダーたちが集まり、友情、誠実さ、奉仕の理念のもとに活動しています。ロータリークラブの目的は、「奉仕の精神に基づき、地域社会および国際社会の発展、平和の促進、人道的なプロジェクトの推進」です。

では、現在のロータリークラブの状況は？と問いに私の知識は2021年9月までのものですので、最新の情報を正確には提供できません。しかし、一般的に言えば、ロータリークラブは現在も世界中で活動を行っています。ロータリークラブは国際的な組織であり、地域社会や世界の問題に対して奉仕活動を行っています。会員たちはプロジェクトを計画し、資金を調達し、実地で奉仕活動を行うことが一般的です。

例えば、地域の清掃活動、医療施設の建設・改修、学校への支援、貧困層への支援などが行われています。

また、ロータリークラブはビジネスや職業のリーダーたちが集まる場でもあり、ビジネスのネットワーキングや専門知識の共有も行われています。

ただし、ロータリークラブには様々な地域やクラブごとの違いがあります。活動内容や会員の構成、重点領域などは地域によって異なる場合があります。

では、ロータリークラブの問題点？と問いに

1. 高額な入会費や会費による経済的負担
2. メンバーの年齢層が高く若い世代が参加しづらい
3. クラブ間の統一性がなく、コンプライアンスに対する課題が残る
4. 入会資格が限定されたクラブのため、多様性や包括性に欠ける
5. 地域社会とのコミュニケーション不足や、社会的問題解決への取り組みの不十分さ

ただし、これらの問題点はロータリークラブに限ったものではなく、多くの社会団体やNPOに共通している課題でもあります。

さらに、ロータリークラブにはいくつかの問題点が指摘されています。以下にいくつかの主な問題点を挙げますが、これらは全てのクラブに当てはまるわけではなく、地域やクラブによって異なる場合があります。

1. 多様性と包括性の欠如：ロータリークラブは、過去に比べて多様性と包括性を重視する動きを見せていますが、まだ改善の余地があります。会員の多くが特定の地域や社会層に偏っており、性別や人種などの多様な要素が反映されていない場合があります。
2. 若者の参加の減少：若者の参加が減少していると

いう課題があります。若い世代は、ロータリークラブの活動に参加するモチベーションや時間的な制約を持つことがあります。若者の関心やニーズに合ったプログラムや活動の提供が求められています。

3. レガシーの重視：一部のクラブでは、過去の伝統や慣習に固執し、新しいアイデアやアプローチの採用に消極的な場合があります。これにより、革新的な活動や新たなメンバーの参加が制限される可能性があります。
4. プロジェクトの持続可能性：ロータリークラブは数多くのプロジェクトを実施していますが、一部のプロジェクトが短期的な解決策にとどまっている場合があります。プロジェクトの計画、実施、評価において、持続可能性や長期的な影響を考慮する必要があります。

これらの問題に取り組むために、ロータリークラブは包括性の向上、若者の参加促進、革新的な取り組みの導入、持続可能なプロジェクトの推進など、さまざまな取り組みを行っています。

このような回答結果でした。では、問題を変えて、これからのAI 将来は？との問いにはAI の将来像は、人々の生活においてますます重要な役割を果たすと予想されています。以下は、AI の将来像の一部です。

1. 自動運転技術の発展：車やトラックなどの自動運転技術の開発は進み、労働力不足の解消や交通事故の減少につながると考えられています。
2. 医療分野での応用：AI 技術を使った遺伝情報解析や診断支援ツールの開発など、医療分野での応用が期待されています。
3. 実世界での応用：現在、AI 技術は主にビジネスや産業分野において使用されていますが、将来は家庭用ロボットやスマートホームなど、現実世界でも使用されるようになると考えられています。
4. 文化や芸術分野での応用：AI 技術を使った作曲や映像編集、翻訳者など、芸術分野や文化分野でも応用されることが期待されています。
5. 社会の変化：AI が発展すると、職業や経済状況など社会的な様々な変革がもたらされることが予想されます。この変化に備え、AI との共存が課題となっています。

このように、文章が言葉でチャット GPT に言えば、多くの事に答えてくれます。これからの時代は、このよ

うに人工知能に頼る時代が来ていると思います。但し、人工知能が、すべて正しい訳ではなく、過去のデータに照らし合わせて答えているだけですが確実に日常生活の中に広がってきています。身近な事と言えば、まさに自動運転化が進んでいる車もその一つになります。各家庭に人工知能ロボットがいる時代は映画の世界でなく、現実の世界になって来ている事は確かです。人工知能が進化すれば、人間の進化に変化が起きるともいわれています。人工知能をどう使うかは、私達人間にかかっていると思います。

幹事報告 **幹事 石川 俊洋 君**
別紙幹事報告を参照ください

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	24	22	16	6	0	72.7%

☆は出席免除者
欠席者：☆外木規之 仲亀秀樹 矢部英樹 石川俊洋
片岡博昌 貫名英舜 斉藤邦男 竹田浩富

お祝い・記念日

- 夫人誕生日
若林 展子さん 5月27日 眞治夫人
- 創業記念日
石田 道彦君 平成7年5月26日
宇佐美量三君 昭和53年6月1日

本日のスマイル

- 先日 中小企業診断士の登録をしました。副業でがんばります。 … 早川英寿 君
- 優良運転者銀賞今日表彰されます。 … 若林眞治 君

本日のプログラム

クラブ協議会 地区研修・協議会報告
担当：次年度会長・幹事

次期会長：竹田 浩富 君
地区研修・協議会は令和5年4月23日にZoomで開催されました。最初に本会議が始まり次期RI会長ゴードンR.マッキナリーさんからのビデオが流され2023-2024 年度テーマ「世界に希望を生み出そう」が流されました。これは現在おきている戦争や紛争を終息させ希望を生み出していこう又ポリオ撲滅や DEIをサポートしていきましょう、という事です。DEI とは diverCity、

equity、inclusion(多様性、公平さ、包括)という意味のようです。次にガバナーエレクト中村皇積さんの解説がありました、ロータリーの行動計画 1、より大きなインパクトをもたらす 2、参加者の基盤を広げる 3、参加者の積極的なかかわりを促す4、適応性を高めるという4つの優先事項の発表がありその一つ一つの説明がありました。

1、より大きなインパクトをもたらす

これはポリオを撲滅し、ロータリーの役割を強調する。ロータリー財団への寄付を行うクラブとロータリー会員の総数を増やすとともに、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やし、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルに成長させる。特にロータリーの重点分野においてクラブ、地区、国際プログラムが成果を上げられるようにし、その成果を測定する。

2、参加者の基盤を広げる

は既存の立場を向上させる。革新的なクラブや参加を促す経路を確立し、発展させる。ロータリーとロータリー会員は世界を変える行動人であるという認識と理解を高める。

3、参加者の積極的なかかわりを促す

個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じて、ロータリーの中核的価値観を支える会員参加促進の手段を強化する。入会后1年以内に退会する新会員の数を減らす。特にロータリークラブ、ローターアクトクラブの参加者の連携をつよめる。クラブ、リーダーシップ、及びロータリーファミリー全体で、多様性、公平さ、インクルージョンへのコミットメントを強化する。

4、適応性を高める

ロータリーのプログラムとロータリーが提供する体験を見直し、その妥当性と効果を確実にする。バーチャルでのつながりの活用を支援・奨励することで、対面式の会合、研修、ファンドレイジング、奉仕プロジェクトの効果を最大限にする。ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を継続的に見直し、効果を高め責務及び説明責任の所在をより明確にする。以上が優先事項の目標です。

その後分科会にわかれ 会長幹事部会に出席しました、その中でのお話で今日は、会員増強のことについて報告したいと思います。印象に残っているものは、**新会員を輪の中に迎えよう 新会員を知りクラブへの愛着を提供しよう、**ということで 43年前の感動の入会

式を動画で流していただきました。参考例ということですが皆さまにも内容を聞いていただきたいと思います。ロータリアン蓮見昭一君、当クラブへの会員候補者と共に前へきていただけますか。

中村靖治君、あなたは、当クラブより正会員として選ばれ、よって飲食業の職業分類を代表することになりました。あなたは、ロータリーの基本原理、責務、義務を理解しロータリアンとなる意思があることを表明されました。ロータリアンとなるには、事業や職業生活において、親善と奉仕の実践に努めんとする意思が必要条件となります。当クラブの会員は、あなたがこれから原則をもうすでに実践していると信じるが故に推薦しました。会員としてあなたを選んだことは、当クラブがあなたを親睦の輪に迎え入れたということだけでなく、ロータリーの理想を共に実現していく仲間として受け入れたことを意味します。あなたはこれからロータリアンとして知られ、あなたの行動がロータリーに対する世間の評価に影響することになります。ロータリーの会員であるということは、名誉であり特権でもあります、どのような特権にもそれに値する義務が伴います。例会に定期的に出席することは、会員の特別義務の一つです。これは、親睦を深めていくための基本的な手段であるだけでなく、自らの職業を代表する一つの方法でもあります。クラブおよび社会奉仕活動に参加することが全会員に求められ、クラブの各委員会は奉仕の機会を提供しています。残るロータリー年度に委員会の委員をぜひ努めていただきたいと思います。最後に私たちの親睦の理想についてお話します。与えるものが多ければ報いも多いものです。あなたが親睦から恩恵を受けると同時に、私たちのクラブへの原動力となってくださることを祈っています。会員の皆さん、ご起立ください。ロータリークラブの会員として、中村靖治氏をここに喜んで迎え入れたいと思います。また世界的な組織を象徴する徽章ピンを付けさせていただきます。このピンを誇りをもって常に着用していただけることを願っています。ロータリアンの皆さん、ロータリアン中村靖治氏を温かくお迎えください。中村氏のロータリーでの経験が楽しく有意義なものとなるよう、皆さんにもご協力いただけることを期待しています。

1979年4月26日

43年前のあるローリークラブの入会式の模様でした、かなり前のことですので今の時代にそぐわない部分もあると思いますが、このような入会式をやっていたら記憶に残ると思います。参考になればと思い取り

上げてみました。

次期幹事：伊原 謙治 君

地区研修・協議会が Zoom により、令和 5 年 4 月 26 日（日曜日）に行われました。次年度会長ゴードン R. マッキナリーさんのビデオを視聴しました。たくさんのお話を丁寧に話されて勉強になりましたが、印象深かった話は、毎日通勤に利用しているホース橋という名前の橋が建設から 133 年経った今でも利用者から有難がられているという事です。この橋が昔、ビジョンを持った人たちによって作られ、けっして会うことのない人ひとたちのためのビジョン、けっして知り合うことのない人たちのためのビジョン、それによって生活が改善されるひとたちのためのビジョンをもって建てられたということです。全ての取り組みや指針などの最終目標はロータリーの私たちのビジョンが地域に愛され、奉仕を受けられる人たちから感謝され認められることを継続しようということだと感じました。次年度のロータリーテーマは「世界に希望を生み出そう」です。

その後、分科会が開かれました。次年度、この地区のガバナー中村皇積さんの解説があり、特に会員増強を中心とした内容でした。たくさんのお話をとっての話は大変興味深かったです。また、大変参考になりました。大体は会員が減少して苦慮しているクラブが多い中で、増強しているクラブの取り組みの事例はとても刺激になります。良いところは当クラブにも生かしたいと思えます。ところで当クラブは何人の会員数が適正なのだろうか考えました。来年 5 月に予定されている当クラブがホスト役の友好クラブ、岡谷エコーロータリークラブの事を少し調べてみました。現会員数 47 名、平均年齢は約 61 歳、岡谷エコーロータリークラブが活動拠点の岡谷市の人口は 47,000 人。当クラブは会員数が 25 名、多分平均年齢は岡谷エコーロータリーより少し高いと思います。富士宮市の人口が 125,000 人。簡単に結論は出ませんが、友好クラブとして長くお付き合いしていくにはそれなりの会員数などバランスが必要だと感じます。 マイナスばかりをあまり考えず、積極的に皆で知恵を出し合い増強に繋げ、活力のあるクラブになればと思いました。



世界に希望を生み出そう